

川上社長のコラム

昼間は作業をしていると汗ばむような気温ですが、

朝夕は気温がかなり下がってきましたね。

ポケットに手を入れて身を縮めたくりますが、

つまづいて転ぶと思わず大きなけがとなる場合がありますので注意したいも

のです。

さて11月から、大成運輸は新しい一年が始まりました。

前年の営業結果は、まだ出ていませんが、自社の運行は9月までの時点で前年

度比約102%という数字ですので、期首に立てた目標に近い数字が出ており良

いゴールになりそうです。ありがとうございます。

一方で事故のほうですが前年事故件数「65件」に対し、「69件」と増加してい

ます。

たまたま大きな事故になりませんでした。が、一歩間違えば重大事故にといった

事案が何件も見受けられます。またそうした事故件数の増加を裏付ける数字と

して、営業車での交通違反件数が2年前「5件」、1年前で「7件」、

今回は「8件」と増加(中でも信号無視が4件と全体の50%)していることが

大変心配されます。

トラックが急に止まれないこと、死角が大きいことは、皆さんが一番よく知っていることだと思います。そして経験を積む程に、周囲の状況が予測出来、スムーズな運転が出来るようになって行くのだと思いますが、いつも予想通りの状況だと緊張感が少し薄れてしまうような気がします。

そこで皆さんが街を歩いている中で、つまづいた事例を思い返して見て下さい
「何でこんなところに、こんなものが置いてあるんや！」常識ではあり得ないことに遭遇した経験が一度くらいはあると思います。

あまりに非常識で頭にくることもあります。怒って態度でそれを表現するとトラックの場合「あおり運転」だと逆ギレされる場合もありますし、転んで痛い目にあった痛みが消えるわけではありません。

自分が間違っていないからと言って事故が起こらないわけではありません。

交差点を通過すると思った前走車が急に止まった。

路肩に止まっているはずのない車が携帯で話すために止まっていた。

「何で・・・!!」と自分とは感覚が違う人っているものですね。

皆さん、危なかった経験を活かして緊張感を持って運転しましょう。

今期は事故違反ともに半減を目標にし、必ず達成したいと思いますので

よろしくお願ひします。